

音を奏でる休憩所

設計背景

都市に響く車の騒音や高層ビルの密集による圧迫感の中で、私たちは無意識のうちにストレスを蓄積している。そんな都市の慌ただしさの中に、この休憩所が佇む。ここでは、緑の**景観**だけでなく、木々のざわめきや水のせせらぎといった自然の**音**を取り入れ、心身を癒やす場を提供する。

設計手法

音景

音=景

音を景色同様に重視した設計とする



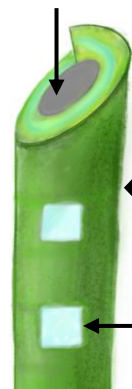
構造

- 鉄骨柱の外側を**竹**で装飾
- 鉄骨柱と竹の装飾の間に傾斜をつけた水路を設けて緩やかに排水



水の循環を**視覚**、**聴覚**で感じることができる

鉄骨柱



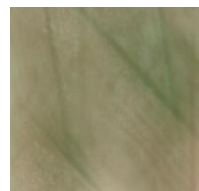
装飾の竹

覗き窓

竹の良さ

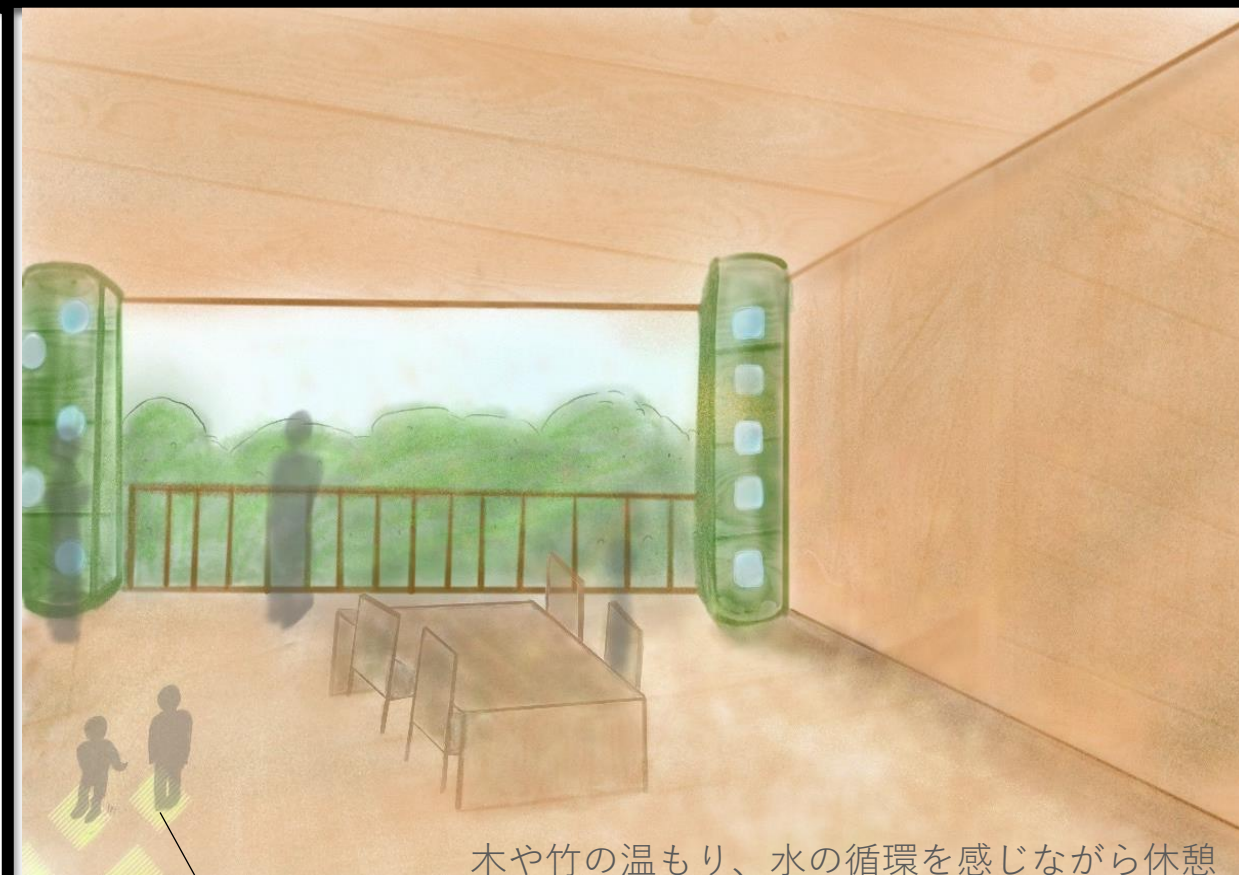
- 部分的に**光を通す**性質をもつ
→ 柔らかく温もりのある光が空間を包む
- 風の接触によって**独特の音**を生む
→ 「カラカラ」「コツコツ」といった涼しげで優しい音により利用者を癒す

床、壁の素材 竹集成材



・竹の表皮を活かして木材に緑が入ることで和の雰囲気が増す

・音が響きやすく自然音をより楽しむことができる



竹音パネルを踏んで音を鳴らす

木や竹の温もり、水の循環を感じながら休憩

2階内観